

教科「家庭」

科目「家庭基礎」

単位数	2単位
担当者	高橋 敦子
教科書	家庭基礎 グローバル&サステイナビリティ (教育図書)
副教材等	Super Live View 家庭科 資料+食品成分表 (東京書籍)

【1】科目の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。

【2】科目の内容と進め方

- 1学期：青年期の自立と家族・子どもの発達と保育・高齢期の生活
共生社会と福祉・ホームプロジェクト
- 2学期：衣生活と自立・食生活の自立
- 3学期：住生活と自立・消費生活と経済・ライフスタイルと環境

【3】学習形態

家庭科教室（家庭経営室・食物教室・被服教室）において、講義形式が中心ですが、実習や実験なども織り交ぜながら行う。

【4】学習上の留意点

生活を科学的に理解し、自立した生活に必要な家族・家庭、衣生活、食生活、住生活、消費や環境等に関する知識・技術を身に付けることは、これからの高校生活での課題であり、大切な内容になる。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 関心・意欲・態度：家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けることができたか。
- 2 思考・判断・表現：家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けることができたか。
- 3 技能：家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けることができたか。
- 4 知識・理解：家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するための必要な基礎的・基本的な知識を身に付けることができたか。

② 評価の方法

- ・授業への取り組み、学習活動の様子、授業ノートの取り組み内容から、関心・意欲・態度を評価する。
- ・定期考査から、系統立った基礎的・基本的な知識が身に付いているか、思考・判断、知識・理解を評価する。

【6】その他

なし